



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社シキノハイテック 上場取引所 東  
 コード番号 6614 URL <https://www.shikino.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 昭仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 広田 文男 TEL 0765-22-3477  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,930	16.9	236	81.3	241	67.9	163	91.7
2022年3月期第2四半期	2,506	—	130	—	143	—	85	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	37.14	36.98
2022年3月期第2四半期	19.84	19.37

(注) 当社は2021年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,810	1,761	36.6
2022年3月期	4,094	1,640	40.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,761百万円 2022年3月期 1,640百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,765	7.6	410	3.5	433	4.0	337	3.2	76.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,415,000株	2022年3月期	4,415,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	46株	2022年3月期	21株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,414,965株	2022年3月期2Q	4,312,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株であるオミクロン株の蔓延、長期化するウクライナ危機、中国のロックダウンの影響は多少緩んだものの、新たに米欧が利上げを急ぐことによる減速なども加わり、先行きの不透明感はさらに増した状態となっております。国内経済は、期初の為替相場は1米ドル122.20円でスタートしたものの、第2四半期会計期間末は22円も円安に変動する「歴史的な円安」となりました。かつて円安は日本経済の追い風でありましたが、構造変化で恩恵が広がりにくくなっており、原油などの資源価格は下落傾向にあるものの、円安による資材や部品輸入の価格高騰に伴うコスト上昇は、収益を圧迫し、景況感の下押し要因となっております。先行きは、新型コロナウイルス感染症収束と価格転嫁進展による採算改善の期待もありますが、まだまだ道半ばとなっております。

当社に関わる半導体業界においては、車載向け半導体や5G向け、産業機器や情報通信技術の用途への広がりなどの需要が依然として継続的に増加することにより、受注高は順調に推移しました。一方、半導体の部材の調達難と調達までの長納期化に加えて、半導体業界の成長鈍化が予想されていますが、当社においてはエネルギー価格の上昇の影響は軽微であり、また、円安の影響は若干ではありますが好感の流れを受けて、好調な業績を維持できております。また、当社においては車載向け機器及び半導体は継続して増産基調であることや、コロナ禍からの回復に伴うインフラ・生産設備投資も継続して回復基調であることに加えて、カーボンニュートラルに向けたEV化の流れによるパワー半導体市場の活性化などを受けて業績は好調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,930,643千円(前年同四半期比16.9%増)となり、営業利益は236,185千円(前年同四半期比81.3%増)、経常利益は241,641千円(前年同四半期比67.9%増)、四半期純利益は163,977千円(前年同四半期比91.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### a. 電子システム事業

電子システム事業においては、第1四半期に引き続き車載向け半導体の増産用半導体後工程商材の受注が増加しました。LSI毎の仕様に合わせたカスタムバーンイン関連商材も受注が伸び、加えて新商材として取り組んでいるIoT-PLC高速通信関連商材の開発案件も受注しました。また今後、半導体商材の活性化が見込まれる熊本県に新たに熊本事業所を開設しました。

これらの結果、電子システム事業は、売上高は1,279,249千円(前年同四半期比45.0%増)、セグメント営業利益は112,343千円(前年同四半期比538.8%増)となりました。

#### b. マイクロエレクトロニクス事業

マイクロエレクトロニクス事業においては、車載向け半導体を中心とした旺盛な需要に支えられ、半導体の設計需要が堅調に推移しています。アナログLSIにおいては、車載向けモータドライバやクラウドサーバー用メモリアンターフェースを主体としたアナログ設計受託が順調でした。デジタルLSIにおいては、昨年度より堅調な画像処理関連のデジタル設計受託が順調に推移しています。また、画像処理設計に伴うIPも売上に貢献しました。

これらの結果、マイクロエレクトロニクス事業は、売上高は1,036,354千円(前年同四半期比6.4%増)、セグメント営業利益は149,717千円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

#### c. 製品開発事業

製品開発事業においては、新型コロナウイルス感染症規制の緩和進展、設備投資の持ち直しにより国内外における車載・産業機器市場でのカメラ需要が増加しています。特に、国内においては、DX推進に伴うカメラ応用機器が増加しており、カメラの需要も増加しています。一方、依然として部材の調達難、価格高騰は続いており、コストアップの要因となっています。

これらの結果、製品開発事業は、売上高は615,038千円(前年同四半期比5.4%減)、セグメント営業損失は25,875千円(前年同四半期はセグメント営業損失11,796千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、4,810,838千円となり、前事業年度末に比べ、716,366千円増加いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が246,750千円、現金及び預金が195,882千円、仕掛品が82,580千円、流動資産のその他が66,445千円増加した影響によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、3,049,200千円となり、前事業年度末に比べ、595,388千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が450,000千円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が245,015千円、支払手形及び買掛金が38,345千円増加した一方、流動負債のその他が159,134千円減少した影響によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、1,761,637千円となり、前事業年度末に比べ、120,977千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が119,828千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は36.6%(前事業年度は40.1%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、724,524千円となり、前事業年度末に比べて195,882千円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は238,465千円(前年同四半期に使用した資金は64,830千円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益239,356千円の計上によるものの、棚卸資産の増加額349,783千円及び法人税等の支払額67,335千円により資金が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は215,271千円(前年同四半期に獲得した資金は106,800千円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出91,681千円、無形固定資産の取得による支出61,651千円、投資有価証券の取得による支出65,445千円により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は649,472千円(前年同四半期に獲得した資金は168,376千円)となりました。これは主に、短期借入金による純増加額450,000千円、長期借入による収入300,000千円により資金が増加したためであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期の業績予想に変更はありません。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	528,642	724,524
受取手形、売掛金及び契約資産	1,189,330	1,223,765
電子記録債権	142,157	131,447
製品	122,134	142,587
仕掛品	114,171	196,751
原材料及び貯蔵品	485,463	732,213
その他	66,823	133,268
流動資産合計	2,648,722	3,284,558
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	406,358	404,302
土地	283,187	306,279
その他(純額)	179,070	189,550
有形固定資産合計	868,616	900,132
無形固定資産		
投資その他の資産	91,715	89,805
繰延税金資産		
繰延税金資産	355,243	349,321
その他	126,801	184,527
投資その他の資産合計	482,045	533,849
固定資産合計	1,442,377	1,523,787
繰延資産	3,372	2,492
資産合計	4,094,472	4,810,838
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	433,652	471,998
短期借入金	100,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	99,972	159,960
未払法人税等	84,006	85,067
賞与引当金	195,967	202,710
受注損失引当金	14,858	15,307
その他	468,918	309,783
流動負債合計	1,397,374	1,794,826
固定負債		
長期借入金	188,415	373,442
退職給付引当金	782,724	799,452
その他	85,298	81,480
固定負債合計	1,056,437	1,254,374
負債合計	2,453,812	3,049,200
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	420,254	420,254
資本剰余金	351,182	351,182
利益剰余金	869,906	989,735
自己株式	△65	△115
株主資本合計	1,641,278	1,761,057
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△619	580
評価・換算差額等合計	△619	580
純資産合計	1,640,659	1,761,637
負債純資産合計	4,094,472	4,810,838

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,506,953	2,930,643
売上原価	1,886,015	2,160,453
売上総利益	620,937	770,190
販売費及び一般管理費	490,655	534,004
営業利益	130,282	236,185
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	1,511	1,650
仕入割引	166	293
保険解約返戻金	9,378	—
為替差益	499	4,255
その他	5,494	2,774
営業外収益合計	17,052	8,977
営業外費用		
支払利息	2,335	2,541
株式交付費償却	879	879
その他	233	100
営業外費用合計	3,448	3,521
経常利益	143,886	241,641
特別利益		
投資有価証券売却益	1,186	87
特別利益合計	1,186	87
特別損失		
固定資産除却損	0	2,371
固定資産売却損	2	—
減損損失	4,010	—
特別損失合計	4,012	2,371
税引前四半期純利益	141,060	239,356
法人税、住民税及び事業税	75,490	69,710
法人税等調整額	△19,985	5,667
法人税等合計	55,505	75,378
四半期純利益	85,555	163,977

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	141,060	239,356
減価償却費	47,015	49,455
減損損失	4,010	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,540	6,743
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,247	448
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24,687	16,728
受取利息及び受取配当金	△1,513	△1,653
保険解約返戻金	△9,378	—
支払利息	2,335	2,541
株式交付費償却	879	879
為替差損益 (△は益)	△69	△147
有形固定資産売却損益 (△は益)	2	—
有形固定資産除却損	0	2,371
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,186	△87
売上債権の増減額 (△は増加)	△188,915	△23,724
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,843	△349,783
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,750	38,345
その他	△53,166	△152,056
小計	42,961	△170,582
利息及び配当金の受取額	1,513	1,653
利息の支払額	△2,247	△2,201
法人税等の支払額	△107,056	△67,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,830	△238,465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△86,397	△91,681
有形固定資産の売却による収入	8	—
無形固定資産の取得による支出	△3,628	△61,651
投資有価証券の取得による支出	—	△65,445
投資有価証券の売却による収入	2,112	100
保険積立金の積立による支出	△9,872	—
保険積立金の解約による収入	204,578	—
資産除去債務の履行による支出	—	△6,732
敷金及び保証金の差入による支出	—	△532
敷金及び保証金の回収による収入	—	10,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,800	△215,271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	450,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△51,732	△54,985
リース債務の返済による支出	△4,402	△1,757
株式の発行による収入	74,577	—
自己株式の取得による支出	△65	△49
配当金の支払額	—	△43,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,376	649,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	210,417	195,882
現金及び現金同等物の期首残高	576,565	528,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,983	724,524

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書 計上額
	電子システム 事業	マイクロ エレクトロ ニクス事業	製品開発 事業	合計		
主要な財又はサービスの ライン						
自社製品	84,945	71,402	614,122	770,470	—	770,470
受託開発	765,934	902,815	36,322	1,705,072	—	1,705,072
その他	3,480	—	—	3,480	—	3,480
顧客との契約から生じる 収益	854,360	974,218	650,444	2,479,023	—	2,479,023
収益認識の時期						
一時点で移転される財 (注) 1	765,800	974,218	650,444	2,390,462	—	2,390,462
一定の期間にわたり移転 されるサービス	88,560	—	—	88,560	—	88,560
顧客との契約から生じる 収益	854,360	974,218	650,444	2,479,023	—	2,479,023
その他の収益(注) 2	27,930	—	—	27,930	—	27,930
売上高						
外部顧客への売上高	882,290	974,218	650,444	2,506,953	—	2,506,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	882,290	974,218	650,444	2,506,953	—	2,506,953
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	17,587	124,491	△11,796	130,282	—	130,282

(注) 1. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している契約については、一時点で移転される財に含めております。

(注) 2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれております。

(注) 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書 計上額
	電子システム 事業	マイクロ エレクトロ ニクス事業	製品開発 事業	合計		
主要な財又はサービスの ライン						
自社製品	143,368	107,477	575,264	826,110	—	826,110
受託開発	1,106,351	928,877	39,653	2,074,882	—	2,074,882
その他	2,999	—	120	3,119	—	3,119
顧客との契約から生じる 収益	1,252,719	1,036,354	615,038	2,904,113	—	2,904,113
収益認識の時期						
一時点で移転される財 (注) 1	1,061,939	1,024,354	585,407	2,671,702	—	2,671,702
一定の期間にわたり移転 されるサービス	190,780	12,000	29,630	232,410	—	232,410
顧客との契約から生じる 収益	1,252,719	1,036,354	615,038	2,904,113	—	2,904,113
その他の収益(注) 2	26,530	—	—	26,530	—	26,530
売上高						
外部顧客への売上高	1,279,249	1,036,354	615,038	2,930,643	—	2,930,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,279,249	1,036,354	615,038	2,930,643	—	2,930,643
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	112,343	149,717	△25,875	236,185	—	236,185

(注) 1. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している契約については、一時点で移転される財に含めております。

(注) 2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれております。

(注) 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。